

船漕ぎ音頭



船漕ぎ音頭とは

波止場から網の建込んでいる場所まで船を漕ぐときに唄われるもの。急ぐ場合や、のんびり漕ぐとき、又は、あとがいといって、後ろ向きに漕ぐ場合など、それぞれに異なった音頭があります。



櫓を漕ぎ、漁場へ向かう
ヤン衆たちの音頭

歌 詞

船漕ぎ音頭

ヤーセーノヤーセーイ ヤーサーノヤーセーイ
ヤーセーノヨー

鯨場のばば ながきにくわいで
ばふらんよ

オーシィオー オーラー

櫓（ろ）をこいでよ

オーシコイのこい聞きゃあ 泣く子も黙る

櫓（ろ）をこいでよ

オラー ドッコイサ コーイヨー

ヤーンサノ ドッコイ

網起こし音頭



網起こし音頭とは

鯨が網にかかり、のり出してから、「枠網」という袋の様な網に鯨を落とし込むまでの作業歌。中でも最も気合いのかかる音頭で、ドッコイ ドッコイショのかけ声で網をたぐり始め、起しきれなくなると木槍り声にかわっていきます。このときには大変な力を必要とし、すばやく操作しなければならないので、全員で力を合わせて作業をします。



網を起こし、鯨を枠網へ
落とし込むヤン衆たちの音頭

歌 詞

網起こし音頭

アラ ドッコイ ドッコイショ
イヤ ドッコイ ヤーサー ドッコイショ
イヤ ドッコイコラサデ ドッコイショ
イヤ なんて聞くだけ ドッコイショ
イヤ まけにほしなし ドッコイショ
セーノ コラ ヤーシ オーイサ
ヤーシーノー コーラーオーコイ
ヤーシーノー コーラーオーコイ
ドットコ ドットコ セーノ コリヤ
ヨイヤーサ サノーヨーイヤサー ヨーイトナー
オラ エーエー
千両万両の 花じゃもの ヨーイトナー
オラ エーエー
神威岬で なぜ女の足止める ヨーイトナー
オラ エーエー
今はやりの ヤーシ オーイサ
ホーラー アーコイ
ヤーンサーノー (ドッコイ)

沖揚げ音頭



沖揚げ音頭とは

これがソーラン節のことで、
杵網に収められた鯨を陸揚げ
するときに歌われる音頭です。
沖合いで鯨をくみ揚げるとき
に大声で歌われることから、
沖揚げ音頭とも呼ばれてい
ます。大漁の歓びに満ちた、
若いヤン衆がソーランソーラン
と、元気の良い声で船べりを
たたきながら、鯨を船に揚げ
ていきます。



大漁の歓びを伝える、
力強いヤン衆の音頭

歌 詞

沖揚げ音頭

(※) 印、(※※) 印は2番以降も同様

【1番】

(※) エン ヤーレン ソーラン ソーラン
ソーラン ソーラン (ハイハイ)

大島小島は 兄弟島よ

なぜにゴメ島 離れ島 チョイ

(※※) (ヤサエーン ヤーサーア ドッコイショ
アー ドッコイショ ドッコイショ)

【2番】

離れ島にも 時節がくれば

春はかもめが 群れとまる チョイ

【3番】

大漁手ぬぐい キリリとしめて

一夜千両の 網起こし チョイ

【4番】

かもめどこ行く 子供を連れて

鯨大漁の 美国まで チョイ

【5番】

破れふんどし 将棋の駒よ

角と思えば 金が出る チョイ

【6番】

色で身を売る スイカでさえも

中に苦勞の 種がある チョイ

【7番】

余市 古平 山道越えりゃ

恋し懷かし 美国町 チョイ

子叩き音頭



子叩き音頭とは

陸揚げの終わった桮網に産み付けられたたくさんの数の子を、竹の棒で叩きおとすときに歌われます。ヤン衆と女性達と一緒に作業しながらの作業歌です。



歌 詞

子叩き音頭

【1 番】

アーイヤサカサッサ
あいの吹くのに なぜ船来ない
荷物ないのか ノー 船止めか
(ソリヤ 船止めか ないのか ノー
船止めか アーイヤサカサッサ)

【2 番】

連れて行くから 髪結い直せ
旅は辛いと ノー 泣かぬよに
(ソリヤ 泣かぬよに 辛いと ノー
泣かぬよに アーイヤサカサッサ)

【3 番】

松とつけるな 女の子でも
松は世間の ノー 門に立つ
(ソリヤ 門に立つ 世間の ノー
門に立つ アーイヤサカサッサ)

ヨーイヨーイヨイヨイヨイ
アリヤリヤン コリヤリヤン
ヨーイートナー
アー ヨイヨイヨイヨイ